

札幌心臓血管クリニックを受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中でご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、下記の担当者までご連絡ください。

研究課題名 (研究番号)	石灰化を伴う浅大腿動脈病変に対する編み込み型ナイチノールステントを用いた血管内治療 The best endovascular therapy for calcified femoropopliteal artery disease with interwoven nitinol stent backup strategy(BURDOCK Study)
当院の研究責任者 (所属)	原口拓也 (循環器内科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	岸和田徳洲会病院 循環器内科 部長 藤原 昌彦
本研究の目的	大腿膝窩動脈領域に石灰化を含む動脈硬化病変を有する症候性閉塞性動脈硬化患者様に対する編み込み型ナイチノールステントである SUPERA ステントを用いた血管内治療の実臨床における 12 ヶ月の治療成績の実態を明らかにしその関連因子を探索すること。
調査データ 該当期間	2019 年 1 月から 2020 年 6 月まで (予定)
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さま 上記期間内に石灰化を伴う浅大腿動脈病変を有する症候性閉鎖性動脈硬化症に対して SUPERA ステントを留置させた患者様 ●利用する情報 患者様背景、病変背景、治療情報、治療後情報 主にカルテ情報からであり、資料の扱いはない
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	多施設共同研究であり、上記の他の研究機関・研究責任者へ提供
個人情報の取り扱い	個人情報等の取り扱いについては、症例を登録した各施設において個人が特定できないように匿名化コードを付与します。個人を特定できる情報等が当該施設の研究関係者以外に知らせることはないように致します。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	電話：011-784-7847 研究担当医師：循環器内科 原口拓也
備考	